伊丹市立桜台小学校 学校通信 NO.５　　令和７年５月31日（土）

桜 だ よ り

伊丹市立桜台小学校
校長　日外　亮

５月31日（土）

残念ながら５月は、毎週週末になると天気が崩れていました。そして、週間天気予報では５月31日（土）は雨でした。はっきりしない天候に不安を抱えたまま前日準備を終えたのですが、翌日の天気予報はまだ雨でした。しかし、みんなの「運動会を予定どおりやりたい！」という思いが天まで届き、当日はなんとか曇り空の下、待ちに待った運動会を実施することができました。

開会式の「学校長あいさつ」では、子どもたち一人ひとりが主体的に運動会に取り組めるよう、大切にしてほしいこととして、「みる」・「する」・「ささえる」の３つについてお話をしました。昨年度は、あまりに暑すぎて「みる」の徹底が厳しい状況でした。そのため、今年度は熱中症対策として、PTAのご協力のもと、万全を期して児童席にテントを設営していただいたのですが、当日は涼しく、熱中症の心配をせずに済んだのは良かったです。

当然ながら、私もしっかりと「みる」を意識しました。どの学年の演技も大変素晴らしかったのですが、中でも６年生のバトンパスは感動しました。なぜなら、バトンをもらう人が渡す人を信じて、前を向いてスピードを上げ、決して振り返ろうとしなかったからです。できるできないは別として、それを学年のみんなが真剣にやろうとしていました。教師の指導が行き届いているなと感じました。

また、今年度のスローガンは、「結果がどうなっても、熱くなれ！桜っ子の心!!」でした。児童会は、様々なことを考慮した上で子どもたちのやる気を引き出す、とても良いスローガンを考えてくれたと思います。

閉会式、指揮台の上から様子を見ていると、赤白・学年問わず、子どもたちは何とも言えない満足気な表情をしていました。きっと「みる」・「する」・「ささえる」を大切にして、スローガンの実現に向けて、熱い心で運動会に取り組んだからでしょう。

運動だけに限らず、どんなことでも一生懸命取り組んで、自分の心が熱くなった瞬間に、人は成長するのです。また、友だち一人ひとりの頑張りを讃え、お互いに認め合えた瞬間に、友だちとの信頼関係は深まるのです。

この運動会の経験を、今後の学校生活にいかしてまいります。